

Okayama University of Science
岡山理科大学



2024 OUS TALKS

募集要項

2024 OUS TALKS

1. 開催目的：

英語を話すというスキル向上を目指すだけでなく、自己の考え主張を整理し英語で他者に伝えることができるようになることを目的とする。また、今後増えていく可能性がある国際的な集まりにおいて、英語を話すことへの抵抗を軽減させることを目指す。

2. 主催：

岡山理科大学 グローバルセンター

3. 実施日：

2024年10月9日または30日（水）5限 16:45～18:15

※OUS TALKSの実施日は、Google フォームでの投票結果に基づいて決定されます。

4. 会場

実施日が10月9日開催の場合：岡山キャンパス A1号館 1階 プレゼンテーションルーム

今治キャンパス 獣医学部棟 A0226 演習室

実施日が10月30日開催の場合：岡山キャンパス 加計学園50周年館 4階多目的ホール

今治キャンパス 獣医学部棟 A0226 演習室

5. 応募対象者

岡山理科大学に在籍している学部生と院生

6. テーマ

「AIとどう付き合うべきか？」

「私の心に刻まれた旅」

「私の悪い習慣」

「ビデオゲームは芸術か？」

「自由テーマ」

7. 賞

・図書カード： 1位（1名） 2位（1名） 3位（1名）

・参加賞：10名

・理大グローバル活動認定証：10点

8. 応募方法

右記QRコードをスマートフォンで読み込み、必要事項をGoogle Formに書き込んだ後、「送信」を押し応募を完了させてください。

*パソコンをご使用の場合はブラウザのアドレスバーに

<https://forms.gle/LCnH5bPdBTwtBjpC9>を入力、Google Formに

お進みください。

〈応募締切〉2024年9月27日（金）



9. 原稿提出締切

実施日が 10 月 9 日開催の場合：2024 年 10 月 2 日（水）

実施日が 10 月 30 日開催の場合：2024 年 10 月 23 日（水）

Email にて oustalks@ous.ac.jp 宛にお送りください。

*原稿は件名に「OUSTALKS 原稿提出」と明記し、本文へ氏名、所属名を記入した上で、Word または PDF ファイルを添付してお送りください。

《流れ》



10. 審査基準

〈制限時間〉5 分以内

〈その他〉

- 何らかのビジュアルエイド（理解を助けるためのスライド等の視覚資料）を使用すること。
- 審査はルーブリックを用いて採点。詳細は別添 1 参照。

11. 審査委員

1. 岡山理科大学 副学長 富岡 直人
2. 岡山理科大学 研究・社会連携機構フロンティア理工学研究所 赤司 治夫
3. 岡山理科大学 工学部 応用化学科 押谷 潤

12. 質問・問い合わせ窓口

岡山理科大学 岡山キャンパス

C1号館 4階 グローバルセンター

電話: 086-256-9814

Email: oustalks@ous.ac.jp

*本行事に対するお問い合わせをメールでする場合は、件名に「OUSTALKS について」と明記し、本文へ氏名、所属名の後にお問い合わせ内容をお書きください。

		1 限定的	2 不十分	3 一部有効	4 有効	スコア
言語 スキル	語彙表現	簡単な語彙や表現のみを使用する。コミュニケーションが制限されることがある。	限られた語彙や表現のみを使用し、言葉の選択ミスが目立つ。	多様な語彙や表現を使いこなすが、言葉の選択ミスはわずかにある。	適切な表現と幅広い語彙を使用することができる。	
	発音	発音やイントネーションに誤りが多く、コミュニケーションに支障をきたす。	発音、リズム、イントネーションの誤りがコミュニケーションの妨げになることがあるが、主旨は明確である。	発音、リズム、イントネーションはほぼ明瞭で、コミュニケーションの妨げになることはほとんどない。	発音、リズム、イントネーションは、ほぼ常に明瞭で、正確である。	
	流暢さ	言い淀みや繰り返しが多く、しばしば聞き手の理解が妨げられる。	多少、言い淀みがあり、聞き手の理解に支障をきたすことがある。	言い淀みはあるが、話の流れが中断されることはない。	スピーチが止まることなく、スムーズに話すことができる。自信をもって話すことができる。	
	質疑応答 (Q&A)	適切で明確な返答ができず、コミュニケーションを進めるために多くのサポートを必要とする。	積極的にコミュニケーションをとろうとするが、適切に応答できないことがある。また、応答が明確でないことがある。	効果的にコミュニケーションをとることができ、概して適切に応答できる。	効果的にコミュニケーションをとることができる。ほぼ常に適切に応答し、考えを明確に述べることができる。	
					言語合計	
		1 限定的	2 不十分	3 一部有効	4 有効	スコア
内容	構成	不明瞭で混乱を招き、よく練られていない構成である。	構成が不明瞭であったり、曖昧であったり、不十分だったりすることもあるが、全体的な要点は明確である。	構成はほぼ明確で論理的だが、若干の混乱や曖昧さが見受けられる。内容の要点は容易に説明することができる。	情報、データ、自分のメッセージ、その他の内容は明確、簡潔、論理的で説得力がある。話し手は、スピーチの中でトピックやスピーチの構成を明示し、接続詞や要約を効果的に用いて、聞き手がアイデアの並びやそれぞれの関係が理解しやすいように工夫している。	
	ビジュアル・ エイド	ビジュアル・エイドがプレゼンテーションの妨げになったり、情報が整理されていなかったり、目的が明確ではなかったりする。または、使用していない。	ビジュアル・エイドはスピーチを補完するものである。多少の間違いや不十分なデザインはあるものの、発表者に意図が伝わる。	ビジュアル・エイドに小さなミスは見受けられるものの、発表者のメッセージの伝達を促進している。	ビジュアル・エイドはプレゼンテーションのメッセージの伝達を促進し、発表者の聴衆へのコミュニケーションを補完するものである。	
伝え方	アイコンタクト&ボディ ランゲージ	聴衆の方を向いていない、あるいはアイコンタクトをとらない。	聴衆と最小限のアイコンタクトしかしない。または一部の聴衆にしか注意を向けていない。	自然なボディランゲージとアイコンタクトを行っているが、メモに頼ることがある。	聴衆と直接目を合わせることができ、好意的な印象を与え、ボディランゲージで聴衆の注意を引き付けることができる。メモをほとんど見ない。	
	声の大きさ& 速度	声が不明瞭で聞き取れない。スピーチが止まってしまうため、聞き手の理解が妨げられることがある。	はっきりと大きな声で話している部分もあるが、スピードが速すぎたり遅すぎたりすることがある。	ほとんどの場合、はっきりと大きな声で話し、話すスピードは速くもなく遅くもない。	適切な声量とスピードで話し、上手く強調を用い、聴衆の興味を引くような話し方ができる。	
					内容&伝え方合計	
	全体の印象	改善の余地あり	十分である	良い	素晴らしい	